

第73回 環境社会学会大会シンポジウム

能登半島地震と 復興の踊り場

2026
6/13 土

15:30~17:30

参加費無料 (現地開催のみです)

会場：金沢星稜大学

グローバルcommons G41

〒920-0811 石川県金沢市小坂町南 559

※大学本館ではありません

駐車場についてはメールにて
お問い合わせください

「復興の踊り場」は復興分野で使われている用語です。

踊り場は階段を登って疲れた体を休める場所でもあるし、登ってきた階段を振り返る場でもあるし、少し休みながら次の目標を考える場でもあります。踊り場という言葉には、先が見えずに苦しい期間であるものの、力を蓄えていくことで次のステップが開かれてくるのではないかという思いや期待が込められていると思います。

今の状況は能登半島地震における一時的な踊り場なのでしょうか。踊り場がこれからも続いていくのではないかという不安もあると思います。誰の目から見て、現在の復興のステージが踊り場といえるのでしょうか。

本シンポジウムでは、現場で復興に取り組む能門亜由子さんに加え、金沢に拠点を置く武田公子さん、高原耕平さんにご登壇いただき、能登半島で暮らすこと、住まうことについて考えたいと思っています。

登壇者

武田公子 (金沢星稜大学)

能門亜由子 (重蔵神社 / 輪島ファーストペンギン)

高原耕平 (金沢大学)

「能登の人口問題と復興理念 (仮)」

「輪島市における民間主導の復旧・復興活動 (仮)」

「能登半島地震の復興を問い直す (仮)」

司会

菊地直樹 (金沢大学)

お問い合わせ先

船木大資 (金沢星稜大学 / 環境社会学会研究活動委員会委員)

dfunaki★seiryu-u.ac.jp

※★を@に変えてお送りください。

主催

環境社会学会

後援

金沢星稜大学学会

申し込みフォーム

※当日参加も可能ですが、なるべく事前申し込みをお願いします。席に限りがありますので、締め切りとさせていただきます。

